

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成30年8月10日

【四半期会計期間】 第46期第1四半期(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

【会社名】 ダイコク電機株式会社

【英訳名】 DAIKOKU DENKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 根本 弘

【本店の所在の場所】 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

【電話番号】 (052)581-7111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 管理統括部 部長 栢 森 啓

【最寄りの連絡場所】 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

【電話番号】 (052)581-7111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 管理統括部 部長 栢 森 啓

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第1四半期 連結累計期間	第46期 第1四半期 連結累計期間	第45期
会計期間	自 平成29年 4月 1日 至 平成29年 6月30日	自 平成30年 4月 1日 至 平成30年 6月30日	自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日
売上高 (千円)	7,288,487	6,872,499	34,093,161
経常利益又は経常損失() (千円)	266,808	812,316	1,390,542
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失() (千円)	195,353	553,739	785,105
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	179,441	532,539	839,051
純資産額 (千円)	28,381,118	29,340,611	29,251,651
総資産額 (千円)	42,115,732	42,247,441	43,564,062
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (円)	13.21	37.46	53.11
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	67.4	69.4	67.1

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、人手不足の深刻化や米国の保護主義的な政策による貿易摩擦への懸念の高まりなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、平成30年2月1日に施行された「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」（以下「新規則」という。）による影響は継続しており、新規出店及び改装店舗が減少する厳しい事業環境となりました。

また、ギャンブル等依存症対策基本法案による依存症対策や、受動喫煙対策を強化する健康増進法改正案への対応など、これら事業環境の変化に柔軟に対応する必要があります。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、全国主要都市において、「Vision for the Future 変革の時代を生き抜くために」と題し、セミナーを開催しました。セミナーでは、規則改正前の遊技機の取扱いに関する経過措置期限である2021年に向けて押さえるべきポイントや新規則遊技機がもたらすメリットを解説し、ファン動向データ公開サービス「Fan-SIS」から見える業績向上の施策について講演を行いました。新たに登場する設定付きパチンコへの期待も高く、多くの方々にご来場いただきました。

また、パチンコホールでの人手不足が深刻化するなか、CRユニットのオプション機能である台毎計数システムへの関心が高まってきており、「Fan-SIS」の活用を絡めた、CRユニット「VEGASIA」の提案強化を行いました。

制御システム事業におきましては、新規則に対応した魅力的な遊技性を創出すべく、市場のニーズ収集及びスベックのシミュレーション分析に取り組むとともに新規受託案件獲得に向けた営業体制の再編成を行いました。

また、新規顧客の獲得に向け、コンテンツ及び新技術の提案活動を推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高68億72百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益7億18百万円（前年同期営業損失3億30百万円）、経常利益8億12百万円（前年同期経常損失2億66百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億53百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億95百万円）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、新規出店や大規模改装が少なく、厳しい市場環境が継続するなか、新製品効果により情報公開端末「BIGMO PREMIUM」の販売は好調に推移し、また人手不足への対応として台毎計数システムの需要は増加しましたが、その他の主力製品においては、前年同期を下回る実績となりました。

費用面では、研究開発費が一時的に増加した前年同期に対し大幅に減少しました。

この結果、当事業の売上高は50億89百万円（前年同期比8.3%減）、セグメント利益は7億36百万円（同482.3%増）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、部品販売において好調であった前年同期を下回りましたが、順調に機種が市場投入され、表示ユニットの販売台数が前年同期に比べ増加したことにより、売上総利益率が大幅に改善しました。

この結果、当事業の売上高は17億93百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は3億85百万円（前年同期セグメント損失26百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、当第2四半期以降に販売を予定しているたな卸資産などは増加いたしました。現金及び預金や売上債権が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ13億16百万円減少の422億47百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、研究開発費及びソフトウェアに関する営業債務が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ14億5百万円減少の129億6百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払額よりも親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が増加したことにより利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ88百万円増加の293億40百万円となりました。自己資本比率は69.4%（前連結会計年度末比2.3ポイント上昇）となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億24百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

オムロンアミューズメント株式会社OAM特約店基本契約

契約会社	相手方の名称	契約内容	契約期間
ダイコク電機株式会社 (当 社)	オムロンアミューズメント 株式会社	パチンコ遊技機の構成部品 (ソレノイド、センサ等)に 関する販売特約店契約	平成18年4月1日から 平成31年3月31日まで (期間満了の1カ月前まで に両社いずれからも何等の 申し入れもない場合は、さ らに1年間自動的に延長さ れるものとし、以後も同様 となっております。)

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	66,747,000
計	66,747,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,783,900	14,783,900	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部	単元株式数は、 100株であります。
計	14,783,900	14,783,900		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年4月1日 ～平成30年6月30日	-	14,783,900	-	674,000	-	680,008

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日である平成30年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成30年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,778,900	147,789	-
単元未満株式	普通株式 4,300	-	-
発行済株式総数	14,783,900	-	-
総株主の議決権	-	147,789	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式95株が含まれております。

【自己株式等】

平成30年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ダイコク電機株式会社	名古屋市中村区那古野一丁目 43番5号	700	-	700	0.0
計	-	700	-	700	0.0

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,832,363	12,939,265
受取手形及び売掛金	4,722,225	4,232,711
電子記録債権	1,545,501	1,353,365
商品及び製品	4,812,422	5,410,617
仕掛品	93,656	13,960
原材料及び貯蔵品	745,220	804,818
その他	814,476	899,074
貸倒引当金	8,929	22,159
流動資産合計	26,556,936	25,631,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,173,038	4,105,573
土地	4,162,117	4,162,117
その他（純額）	1,388,908	1,316,741
有形固定資産合計	9,724,064	9,584,432
無形固定資産		
ソフトウェア	3,255,872	3,083,863
その他	36,539	33,424
無形固定資産合計	3,292,412	3,117,288
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,315,820	1,254,176
投資不動産（純額）	936,480	932,507
その他	2,129,217	2,118,731
貸倒引当金	390,869	391,348
投資その他の資産合計	3,990,648	3,914,067
固定資産合計	17,007,125	16,615,788
資産合計	43,564,062	42,247,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,528,365	1,653,790
電子記録債務	3,824,891	3,884,546
短期借入金	3,300,000	3,000,000
未払法人税等	47,129	201,090
役員賞与引当金	68,530	28,650
株主優待引当金	34,044	34,038
その他	3,393,906	2,681,290
流動負債合計	13,196,866	11,483,406
固定負債		
長期借入金	-	300,000
役員退職慰労引当金	329,393	331,868
退職給付に係る負債	479,190	484,191
その他	306,961	307,363
固定負債合計	1,115,544	1,423,423
負債合計	14,312,411	12,906,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	28,016,973	28,127,220
自己株式	1,520	1,606
株主資本合計	29,369,461	29,479,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,191	46,396
繰延ヘッジ損益	-	79
退職給付に係る調整累計額	195,001	185,486
その他の包括利益累計額合計	117,810	139,010
純資産合計	29,251,651	29,340,611
負債純資産合計	43,564,062	42,247,441

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	7,288,487	6,872,499
売上原価	4,546,187	3,781,425
売上総利益	2,742,300	3,091,073
販売費及び一般管理費	3,073,139	2,372,710
営業利益又は営業損失()	330,838	718,363
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	8,610	10,736
受取分配金	25,202	37,025
その他	43,563	64,133
営業外収益合計	77,378	111,897
営業外費用		
支払利息	2,453	2,785
不動産賃貸費用	10,621	12,182
その他	272	2,977
営業外費用合計	13,347	17,944
経常利益又は経常損失()	266,808	812,316
特別損失		
固定資産除却損	517	408
減損損失	-	3,927
特別損失合計	517	4,335
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	267,325	807,980
法人税、住民税及び事業税	10,870	183,248
法人税等調整額	82,842	70,992
法人税等合計	71,972	254,240
四半期純利益又は四半期純損失()	195,353	553,739
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	195,353	553,739

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	195,353	553,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,326	30,795
繰延ヘッジ損益	-	79
退職給付に係る調整額	10,585	9,515
その他の包括利益合計	15,911	21,200
四半期包括利益	179,441	532,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,441	532,539

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
受取手形	238,595千円	176,199千円
電子記録債権	54,820千円	2,840千円
支払手形	20,596千円	31,847千円
電子記録債務	290,080千円	80,721千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
減価償却費	473,464千円	411,707千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月15日 取締役会	普通株式	591,327	40	平成29年3月31日	平成29年6月13日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年5月14日 取締役会	普通株式	443,493	30	平成30年3月31日	平成30年6月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,551,303	1,737,184	7,288,487	-	7,288,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	6,930	6,988	6,988	-
計	5,551,362	1,744,114	7,295,476	6,988	7,288,487
セグメント利益 又は損失()	126,507	26,198	100,309	431,147	330,838

(注) 1 セグメント利益の調整額 431,147千円には、セグメント間取引消去 1,721千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 429,825千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,089,190	1,783,309	6,872,499	-	6,872,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	9,830	9,830	9,830	-
計	5,089,190	1,793,139	6,882,329	9,830	6,872,499
セグメント利益	736,664	385,023	1,121,688	403,325	718,363

(注) 1 セグメント利益の調整額 403,325千円には、セグメント間取引消去1,832千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 405,158千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「情報システム事業」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、3,927千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	13.21円	37.46円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失() (千円)	195,353	553,739
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失() (千円)	195,353	553,739
普通株式の期中平均株式数 (千株)	14,783	14,783

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成30年5月14日開催の取締役会において、平成30年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	443百万円
1株当たりの金額	30円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成30年6月13日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年 8月 9日

ダイコク電機株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池ヶ谷正印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 稲垣吉登印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイコク電機株式会社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイコク電機株式会社及び連結子会社の平成30年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。